

第4章 教育機関	49
1 市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	50
2 市川市教育センター.....	52
3 市川市立図書館.....	54
4 市川市公民館（社会教育課）.....	61
5 市川考古博物館.....	64
6 市川歴史博物館.....	66
7 市川自然博物館.....	68
8 市川市少年自然の家.....	70

1. 市川市生涯学習センター
(メディアパーク市川)

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 047-320-3351



特色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など78万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- S 63年 4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年 7月 ワーキンググループ設置（基本計画案検討）
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

- H元年 7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定
- 元年10月 競技設計実施
- 2年 7月 基本設計完了
- 3年 3月 実施設計完了
- 3年12月 着工
- 6年 6月 竣工
- 6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

- ・中央図書館
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・こどもとしょかん
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・中央こども館
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・文学ミュージアム
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・文学ミュージアム資料室
 - 火～日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・教育センター
 - 研修担当：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 - 相談担当：火曜日～土曜日 9:00～17:00
- ・少年センター
 - 電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(木曜日のみ) 9:00～19:00
 - 面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
 - eメール相談：24時間

○休館日

- ・月曜日
- ・年末年始 (12/28 ～1/4)
- ・館内整理日 (土・日を除いた月末)

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,648㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通して子ども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,067㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットループ）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール
- ・通常展示フロア

- ・企画展示室
- ・映像メディア編集室

- ・文学研修室

- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室
- ・コンピュータ研修室
- ・教育相談室
- ・和室相談室 ・プレイルーム
- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

2. 市川市教育センター

〒272-0015 鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335(研修担当事務室)

047-320-3336(相談担当事務室)

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子供や保護者からの教育相談を行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿革

昭和36年 4月 市川市役所内に市川市教育研究所を置く
 昭和37年 1月 教育相談事業開始
 昭和38年 3月 小学3・4年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行
 昭和48年 4月 教職員等研修事業開始
 昭和49年 4月 就学指導委員会条例施行
 昭和54年 4月 教育実践記録論文「いぶき」第1回募集
 昭和54年 6月 「教育いちかわ」1号発行
 昭和58年12月 南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称
 平成元年 公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始
 平成6年11月 市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転
 平成6年 適応指導教室開級
 平成8年 文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年
 平成11年 文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」
 平成13年 文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究

平成13年 開発事業」
 文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年
 文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年
 平成15年 文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」
 平成16年 文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年
 平成18年 文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年
 平成19年 きらきら体験留学事業
 平成21年 文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」
 平成22年 文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年
 平成22年 「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管
 平成25年 文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年
 平成25年 校内LANシステム、校務支援システム、ICT機器等の導入
 平成27年 教育支援委員会条例施行
 文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～28年

施設

市川市生涯学習センター 3階 2,067㎡
 (通称 メディアパーク市川)

事業

(1) 学校図書館支援センター事業

市川市教育センター内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館へのさまざまな支援を通して学校図書館の「学習・情報センター」「読書センター」としての機能の充実・強化を図る。また、学校の教育機能を高め児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育むとともに、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

(2) 社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」(小学校3・4年用)及び指導解説資料等の作成をする。

(3) コンピュータ教育振興事業

(小学校)

コンピュータに慣れ親しみ、多くの情報に触れながらICT教育を推進する。また、IT社会で適正に行動するための考え方や態度を養成する。

(中学校)

コンピュータの操作等を通して、情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。また、情報モラル教育の推進を図る。

(4) 教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

- ・層別研修
- ・職務別研修
- ・希望研修
- ・推薦研修

(5) 学校情報化研究事業

教職員のICT機器操作のレベルアップを図り、魅力ある授業への改善及びICT機器等の整備を行う。

(6) 教育広報活動事業

①教育委員会広報紙「教育いちかわ」発行
市川市教育委員会の施策や新しい教育情

報等を市民・保護者・学校関係者に提供し、理解と協力を求める。

②教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動を論文にまとめ論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

③教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

(7) 教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

(8) 教育支援委員会運営事業

(市川市教育支援委員会)

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

(9) 教育相談事業

①教育相談

市内在住の3歳以上の幼児、小学生、中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等がカウンセリングや心理療法等を行うことで悩みの軽減や解消を図る。

②ほっとホッと訪問相談

学校生活全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

(10) 適応指導教室運営事業

(ふれんどルーム市川)

心理的な要因による不登校児童生徒に対し、自我の確立及び集団生活への適応力の向上を図り、学校への復帰を促す。

3. 市川市立図書館

〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館)
TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351



図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成26年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表していく。

- (1) 学びを支える図書館
 - 身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備
- (2) 情報拠点としての図書館
 - ① 様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - ② ICタグによる蔵書管理
 - ③ レファレンスサービスの充実
- (3) 子どもの成長をサポートする図書館
 - ① 発達に応じた豊かな読書のための環境の整備
 - ② 教育センターや学校図書館との連携
- (4) 地域の文化を育む図書館
 - 市川市の歴史・文化の保存と継承
- (5) 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館
 - ① 市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ
 - ② 市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供
- (6) まちづくりを支える図書館
 - ① 市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信
 - ② 議会図書室との連携

沿 革

昭和	
25年 9月	創立開館市川小学校に併設(2教室)
32年 5月	葛飾八幡宮境内に移転し新設開館
37年 5月	夜間開館実施
39年 3月	「市川市立図書館設置条例」制定
6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年 5月	本館隣りに新館開館
50年 9月	移動図書館「みどり号」運行
54年 2月	信篤図書館開館
55年 4月	行徳分館を行徳図書館に改称
56年 10月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
58年 10月	行徳図書館、行徳支所4・5階に移転して開館
60年 11月	南行徳図書館開館
62年 10月	電算システムを導入し、市内5館をオンラインで結び、システムによる貸出開始
平成	平田図書室開室
元年 4月	行徳図書館、行徳支所隣に新館として開館
6年 11月	市川市中央図書館開館
12年 10月	インターネットで蔵書公開を開始
14年 11月	インターネットでの所蔵予約開始
15年 3月	自動車図書館車の圧縮天然ガス(CNG)車への更新
17年 4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
18年 10月	宅配サービス開始
21年 4月	指定管理者制度を導入し、市川駅南口図書館開館
23年 4月	市川市立図書館中期計画策定
26年 11月	中央図書館開館二十周年記念行事(標語、ポスター募集・記念講演会)開催
27年 3月	市川市立図書館運営基本計画策定

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,223	912	360	573
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	713,326	42,089	143,299	63,318	43,067	85,668
雑誌(誌)*1	320	36	105	36	37	44
CD(点)	18,204		7,502			
ビデオ(点)	4,362		49			
DVD(点)	1,763		87			1,013
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	166	33	16	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)32	1	6	1	1	(*3)7
職員数(女性)*4	33(21)	3(1)	11(5)	4(1)	3(1)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	26(19)	1(1)	9(5)	3(1)	2(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より 徒歩13分 JR本八幡駅下 総中山駅より 徒歩15分	JR本八幡駅より 徒歩10分 京成菅野駅より 徒歩8分	東西線行徳駅より 徒歩5分	東西線原木中山 駅より徒歩2分	東西線南行徳駅 より徒歩15分	JR市川駅より 徒歩2分

*1 購入雑誌のみ。

*2 Web-OPAC・ITブース等を含む。

*3 外部データベース閲覧3台含む

*4 再任用職員を含む。

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポストの配置(平成27年4月現在12箇所)により、利便性の向上に努めている。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度ごとの「資料収集計画」という

体系のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけではなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

②視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を

行う。

③逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

（3）リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

平成27年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は3,619冊、借用冊数は5,476冊となっている。

（4）自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障害のある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

平成27年度末の蔵書冊数は17,966冊、延べ利用者数は5,421人、貸出点数は、24,912点となっている。

（5）レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

平成27年度の実績は74,934件となっている。



（6）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養い育てるために、公共図書館と学校図書館が連

携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万2千冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

平成27年度においては学校よりの依頼件数は656件、5,713冊の貸出があり、その他に学級文庫用に4,820冊を提供した。

（7）千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学付属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

平成27年度の紹介状発行件数は159件。

（8）和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

平成27年度、和洋女子大学より借用件数は2件(2冊)市川市立図書館よりの貸出件数は6件(6冊)。

（9）公民館図書室

7つの公民館（西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳）に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より西部・大野公民館、平成15年6月より曾谷公民館、平成16年6月より東部公民館に図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

（10）市民図書室

4つの小学校（塩焼・稲越・福栄・大柏）に市民図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回

している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障害者サービス（図書館利用に障害のある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障害がある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内 12 ヶ所（市川市役所本庁舎・八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学付属図書館・イオン市川妙典

店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店）の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。平成 27 年度の実績は、約 23 万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成 18 年 5 月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館の I D 1 万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館に電子図書館閲覧コンピューターを設置した。

平成 27 年度主な言語別蔵書冊数は、英語 6,867 冊、中国語 3,721 冊、韓国語 1,626 冊その他の言語 1,609 冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。市川図書館友の会の協力のもと実施。

平成 27 年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者 1,412 名、提供冊数 13,775 冊。

統計は別紙



平成27年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成27年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,059	78	393	2,069	605	377	341	14,922
1哲学	21,650	207	735	3,087	1,320	716	735	28,450
2歴史	29,592	355	1,641	8,009	2,490	1,829	3,007	46,923
3社会科学	54,406	415	2,457	13,761	3,238	2,352	1,699	78,328
4自然科学	24,861	340	1,428	6,052	1,888	1,345	1,074	36,988
5技術	18,983	1,500	3,129	7,530	3,658	2,678	6,029	43,507
6産業	8,642	187	763	2,333	749	600	917	14,191
7芸術	33,331	416	2,176	8,646	3,173	1,610	2,907	52,259
8言語	9,519	50	431	1,768	519	359	570	13,216
9文学	50,715	6,673	9,420	26,123	16,890	8,968	7,517	126,306
郷土行政	47,986	0	530	3,666	842	643	359	54,026
参考資料	24,650	0	149	1,961	563	251	399	27,973
外国語資料	13,103	0	0	720	0	0	0	13,823
障害者資料	10,329	248	0	566	0	0	0	11,143
コーナー別資料	251,152	0	4,269	21,304	11,338	5,502	46,021	339,586
一般計	609,978	10,469	27,521	107,595	47,273	27,230	71,575	901,641

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	437	44	104	296	223	72	95	1,271
1哲学	509	21	88	213	97	64	66	1,058
2歴史	4,458	97	499	1,604	691	597	445	8,391
3社会科学	4,088	93	473	1,384	512	548	462	7,560
4自然科学	8,845	596	1,318	2,549	1,714	1,379	1,159	17,560
5技術	3,024	263	446	1,064	538	457	570	6,362
6産業	1,625	69	253	481	241	273	210	3,152
7芸術	3,963	380	597	1,292	768	624	782	8,406
8言語	848	23	144	278	139	162	136	1,730
9文学	28,344	2,231	3,978	10,147	5,572	4,913	3,292	58,477
E絵本	41,306	3,532	6,396	14,738	5,056	6,302	6,495	83,825
P紙芝居	1,009	148	247	425	145	257	296	2,527
児童郷土	1,396	0	7	271	108	10	0	1,792
児童参考	747	0	18	281	85	46	85	1,262
児童研究	2,749	0	0	681	156	133	0	3,719
児童計	103,348	7,497	14,568	35,704	16,045	15,837	14,093	207,092

図書計	713,326	17,966	42,089	143,299	63,318	43,067	85,668	1,108,733
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	38,618	0	1,390	5,182	1,790	1,681	1,342	50,003
ビデオ	4,362	0	0	49	0	0	0	4,411
DVD	1,763	0	0	87	0	0	1,013	2,863
CD	18,204	0	0	7,502	0	0	0	25,706
その他付録等	3,825	0	43	473	14	21	135	4,511
図書以外計	66,772	0	1,433	13,293	1,804	1,702	2,490	87,494

総計	780,098	17,966	43,522	156,592	65,122	44,769	88,158	1,196,227
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (平成27年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,499	58	550	4,260	595	558	1,827	13,347
1哲学	27,427	307	1,721	13,842	2,160	1,975	8,400	55,832
2歴史	23,291	499	3,326	26,237	4,309	4,696	25,244	87,602
3社会科学	42,387	596	3,213	31,117	3,469	3,564	12,536	96,882
4自然科学	20,925	505	1,636	14,711	2,174	1,673	5,446	47,070
5技術	21,115	1,873	5,798	44,185	7,181	7,906	38,555	126,613
6産業	6,331	198	880	7,459	995	1,062	4,357	21,282
7芸術	24,411	335	1,735	14,322	3,507	2,033	12,710	59,053
8言語	15,613	75	558	5,890	1,079	618	4,265	28,098
9文学	26,909	5,205	13,108	76,105	15,987	14,457	49,553	201,324
郷土行政	3,886	5	78	872	184	153	690	5,868
参考資料	883	0	3	27	6	14	15	948
外国語資料	4,348	28	56	888	18	22	323	5,683
障害者資料	6,951	51	113	687	37	43	422	8,304
コーナー別資料	666,084	1,540	19,389	148,145	35,062	24,208	232,420	1,126,848
一般計	896,060	11,275	52,164	388,747	76,763	62,982	396,763	1,884,754

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	628	44	131	479	82	65	364	1,793
1哲学	1,329	16	103	619	95	100	516	2,778
2歴史	5,714	69	413	2,958	316	383	1,560	11,413
3社会科学	6,592	169	331	3,977	238	524	1,711	13,542
4自然科学	15,107	827	1,078	9,586	984	1,256	3,991	32,829
5技術	7,570	655	812	7,199	1,300	1,424	3,359	22,319
6産業	1,900	149	275	1,218	247	415	634	4,838
7芸術	11,785	848	1,142	7,465	1,601	1,461	5,049	29,351
8言語	1,572	50	107	1,168	113	213	532	3,755
9文学	71,850	3,222	7,984	46,032	6,826	8,830	23,990	168,734
E絵本	190,752	7,108	14,107	105,422	17,947	18,532	56,830	410,698
P紙芝居	6,977	278	542	3,496	217	529	1,907	13,946
児童郷土	850	0	2	81	14	8	4	959
児童参考	85	0	2	12	5	0	12	116
児童研究	1,269	2	24	492	26	14	94	1,921
児童計	323,980	13,437	27,053	190,204	30,011	33,754	100,553	718,992

図書計	1,220,040	24,712	79,217	578,951	106,774	96,736	497,316	2,603,746
-----	-----------	--------	--------	---------	---------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	51,299	149	4,079	27,136	4,751	5,663	12,410	105,487
ビデオ	3,258	0	4	165	18	17	36	3,498
DVD	21,949	0	202	1,555	165	223	6,508	30,602
CD	70,583	0	796	23,491	1,169	829	5,102	101,970
その他付録等	24,595	51	428	6,117	443	268	30,793	62,695
図書以外計	171,684	200	5,509	58,464	6,546	7,000	54,849	304,252

総計	1,391,724	24,912	84,726	637,415	113,320	103,736	552,165	2,907,998
----	-----------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

図書館名	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	149	18,066	121.2	149	34,386	230.8	859	653	21,883
稲越市民図書館	146	2,660	18.2	146	7,184	49.2	441	388	15,902
福栄市民図書館	148	9,975	67.4	148	26,867	181.5	1,097	438	18,410
大柏市民図書館	145	7,723	53.3	145	10,311	71.1	355	376	18,314
計	588	38,424	65.3	588	78,748	133.9	2,752	1,855	74,509

4. 市川市公民館（社会教育課）

〒272-0023 南八幡 1-17-15 南八幡仮設庁舎 2階
TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 「ミーティアムガイド」の発行

公民館主催講座の情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日による休日、年末年始（12月29日～1月3日）



菅野公民館（平成23年4月開館）

5 沿革

- 昭和27年5月 市川市公民館が開館（現在の中央公民館）
- 昭和49年11月 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称
- 昭和53年9月 行徳公民館が開館
- 昭和53年10月 鬼高公民館が開館
- 昭和54年4月 東部公民館が開館
- 昭和55年3月 柏井公民館が開館
- 昭和55年4月 本行徳公民館が開館
- 昭和56年5月 市川駅南公民館が開館
- 昭和56年9月 大野公民館が開館
- 昭和57年4月 信篤公民館が開館
- 昭和58年5月 曾谷公民館が開館
- 昭和62年5月 若宮公民館が開館
- 平成元年4月 「公民館だより」発行
（翌年「カルチャーガイド」に改称）
- 平成元年5月 幸公民館が開館
- 平成2年5月 南行徳公民館が開館
- 平成3年5月 市川公民館が開館
- 平成7年10月 一部公民館にて月曜開館の試行開始
- 平成10年9月 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
- 平成11年4月 公民館組織改正
（地域別に4ブロック制に）
- 平成12年4月 公民館使用料の改正
（1時間単位の予約に）
- 平成12年5月 インターネットによる公民館予約システム開始
- 平成13年3月 「ミーティアムガイド」発行
（「カルチャーガイド」を改称）
- 平成13年4月 公民館組織改正
（公民館センターの設置）
- 平成14年4月 行徳公民館に新館を増設
- 平成16年6月 中央公民館菅野分館が開館
- 平成17年4月 全館月曜開館の実施
- 平成18年4月 夜間を管理委託から直営に
- 平成23年4月 菅野公民館が開館
- 平成25年4月 公民館組織改正
（公民館センターから社会教育課に変更）

第4章 教育機関

- 平成27年10月 公民館使用料の改正
(市民等以外の料金設定)
- 平成28年10月 公民館使用料の改正
(経過措置期間終了に伴う
本改正)

6 平成27年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	平成27年度主催講座の例
中央	43,952	17	地形から考える市川の歴史 秋の放課後クラブ
鬼高	26,139	17	あつまれ5, 6年生 楽しく学ぼう英会話 アサーショントレーニング読書会
信篤	78,300	18	母と子の心をつなぐベビーマッサージ 初めての手話
東部	104,653	20	正しく実践! みんなの体操、ラジオ体操 日本で生まれた漢字文化
柏井	30,187	19	私の逸品 似顔絵かいてみよう
大野	89,491	19	子供科学工作教室 乳幼児期に巡り合いたい本
若宮	35,923	12	伝統芸能「けん玉」をみんなで楽しむ スリランカのアーユルヴェーダ料理
市川	93,212	9	ボイストレーニングで美声と健康を 小さな絵画、はがき絵
西部	98,301	18	楽しみましょう バドミントン入門編 クリスマスのパン作りを楽しむ
市川駅南	68,351	24	浴衣を着て女子力アップ! 集まれ! 未来のパティシエ
曾谷	129,550	18	弓道講座 初めてのノルディックウォーク
行徳	151,615	23	行徳再発見ぶらり旅 縄跳び上手になろう
本行徳	31,082	19	日本画家・東山魁夷の世界 アロマでヘルスケア
幸	39,384	15	学校給食を作って食べよう 初めて出会うスマートフォン
南行徳	91,514	20	南行徳わくわく広場 やって納得 男の料理入門
菅野	54,782	20	国府台の歴史を学ぶ ゾーンセラピーでリフレッシュ
社会教育課	74	4	フライングディスク講習会 福祉・ボランティア講座
合計	1,166,510	292	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 047-373-2205



▲博物館全景

特 色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、しかも堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を含んでいる。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる考古専門館である。

生涯学習の時代の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
- 50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
- 57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
- 60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡
学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

●博物館案内図



交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、宮久保遺跡、殿台遺跡、杉ノ木台遺跡、小塚山遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 農耕の開始<弥生時代>

大陸、半島から伝来した稲作等の農耕と鉄器の使用が人々の暮らしを大きく変えたことを、甕棺、青銅器、金印など西日本の事情を加えて説明している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

ホール小展示

- ・「考古博物館40年の今と昔」4/1～6/14
- ・「窯の須恵器・国府の須恵器」6/27～H28. 6/12

速報展

- ・「道免き谷津遺跡」その2 ～10/7
- ・「市川砂州の遺跡」10/24～ H28. 3/13

3 利用状況 (平成27年度) 開館日数305日

	個人			団体			計		
	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	市内	市外	総計
常設展示	4,487	12,476	16,963	5,268	3,362	8,630	16,990	8,603	25,593

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名	内容
講座 ・ 講演 演 会 等	○考古学教室 『続日本紀』を読む全10回 『常陸国風土記』を読む全10回 出張展示解説2回 「市川の遺跡と博物館」 ○国際博物館の日記 念講演会 「平田遺跡とその周辺」 ○速報展講演会
体験 ・ 見 学 会 ・ 養 成	○博物館体験学習 土器をつくろう 全4回 火をおこそう 1回 勾玉づくり 10回 組紐づくり 30回 ○サマーフェスタ 縄文汁・火おこし ほか ○オータムフェスタ 火おこし・焼き芋ほか ○小学校体験学習 15校 1378人 ○出前授業 5校 404人 ○第16回縄文体験フェスティバル 縄文の造形・火おこし・勾玉づくりなどを体験 ○バス見学会 「上野三碑・富岡製糸場」 ○ボランティア養成講座 火おこし指導員の養成全3回 縄文学習指導員の養成全3回 組紐ボランティアの養成全1回

4 協力

春史蹟まつり、回遊展in八幡、曾谷縄文まつり、真間史蹟まつり、「真間の入り江」講演会、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験8校29人、学芸員館務実習4大学4人、体験学習教職員研修会15回

利用

- 1 利用案内 ・開館時間 9時～16時30分
・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）
- 2 入館料 ・常設展・企画展は無料

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和57年11月 市立市川歴史博物館として開館。

12月 登録博物館となる登録17号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)
敷地面積 3,388㎡ 建築面積 1,199㎡
延床面積 2,001㎡

[主な施設]

常設展示室 430㎡ 特別展示室 249㎡
講堂 104㎡ 収蔵室 234㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩8分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス停下車徒歩10分、ほか。

案内図は、2ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

- (1)中世(鎌倉～戦国時代)関係
板碑、日蓮関係資料(複製)等
- (2)近世(江戸時代)関係
高札、古文書、塩製造用具等
- (3)近現代(明治～昭和時代)関係
古写真、戦争関係資料、学校関係資料等
- (4)民俗関係
生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。

展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる

ところに、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市域の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介します。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

企画展「松井天山の鳥瞰図と市川市域」

3月8日～5月10日

企画展「昔のくらしと道具を探そう」

9月1日～28年1月31日

小企画展「新収蔵資料展」

6月12日～12月23日

季節の展示 冬「辻切り」、春「祝いの品々」

1月20日～3月31日

巡回展「市川市域の空襲」宮田小、平田小
11月6日～12月16日

3 講座・説明会・体験学習など（表1参照）

4 協力

回遊展 in 行徳・市川、中央公民館他5館講座、市川雑学大学、たばこと塩の博物館、市川市史編さん事業

5 研修

市内小・中学校初任者教員研修88人、中学生職場体験7校24人、学芸員館務実習3大学3人

表2（平成27年度）開館日数305日

	個人			団体			計		
	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	市内	市外	総計
常設展示	4,711	17,574	22,285	5,854	3,793	9,647	22,419	9,513	31,932

利 用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表2参照）

表 1

	行事名	内 容
講座・講演会	○市川歴史カレッジ（第9期2年次）	市川の歴史・民俗を2年で学ぶ 歴史博物館担当分10回 古文書講座12回 柏井植草家日誌講読全11回 市川市域の民俗について2回 東京方面・船橋方面全3回 中山地域の歴史他全2回
	○近世史講座Ⅰ	
	○近代史講座Ⅰ	
	○民俗学講座	
	○史跡めぐり	
体験・養成	○学芸員講座	
	○小学校体験学習	昔のくらし体験（出前型）1回 冬のくらしの道具体験など 昔のくらし体験（来館型）30回 紋切りなど毎週土日 歴史地図づくり全2回 昔の洗濯体験全1回、水鉄砲作り1回 わらのリース作り、昔遊びなど
	○昔遊び体験	
	○博物館サマーフェスタ	
	○博物館オータムフェスタ	
	○縄文体験フェスティバル	昔遊び、紙芝居など
○ボランティア養成講座	藁ぞうり作り指導員養成1回 昔のあそび指導員養成12回	

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284番地
TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



施設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

特色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見していただくことを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

沿革

平成元年10月24日 開館

開館記念特別展「市川の植物」

平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」

平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録

平成3年度 企画展「市川の鳥」

平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」

平成6年度 企画展「市川のさかな」

平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」

平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」

平成15年度 企画展「長田谷津（大町自然観察園）」

平成18年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」

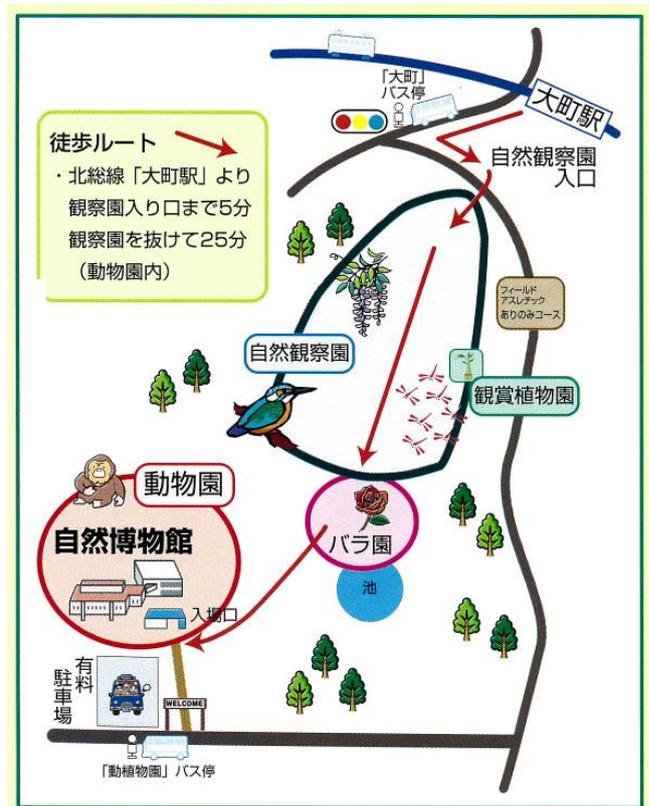
平成21年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」

平成24年度 企画展「いきもの成長」

平成27年度企画展「いきものの体」

企画展終了後、展示を継続

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種目	品目
標本資料	植物 さく葉標本
	植物 藻類さく葉標本
	鳥類 剥製標本
	鳥類 骨格標本
	鳥類 古巣標本
	鳥類 卵標本
	鳥類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚類 液浸標本
	昆虫 乾燥標本
	昆虫 古巣標本
	昆虫 付随標本
	貝類 貝殻標本
	貝類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地学 遺骸・化石標本
	地学 土壌標本
地学 岩石鉱物標本	
その他 人工物など	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

- ・ひろがる市街地
- ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

- ・市川の林
- ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

- ・帰化植物
- ・都市鳥
- ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

- ・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行事名	内容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園等での観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
自然講座	学芸員が市内の自然について紹介する室内講座
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により植物名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利 用

●開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

●休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

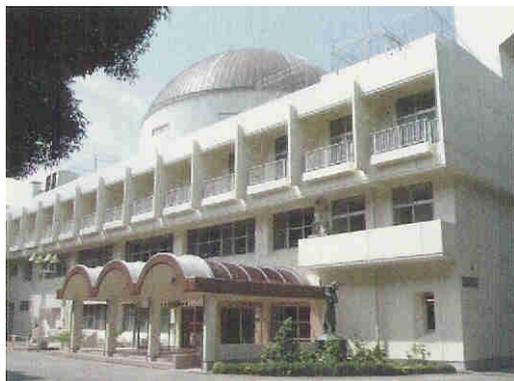
●入館料 無料

・入館者数（平成27年度） 開館日数 305日

	18歳未満	18歳以上	計
個人	53,709	74,485	128,194
団体	3,533	461	3,994

合計	市 内	市 外	計
	57,242	74,946	132,188

8. 市川市少年自然の家	〒272-0801 市川市大町 280-4 TEL 047-337-0533 FAX 047-337-0534
---------------------	--



- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦25m 横15m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他
 - 浴室、事務室、保健室他
 - 付帯設備 集いの広場 2,475㎡
 - 野外炊事場

特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園などと隣接した、大変自然豊かなところにある。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

浴 草

- 昭和57年7月 開所
- 8月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和62年 5周年記念式典
- 昭和63年 野外活動倉庫建設
- 平成5年 10周年フェスティバル実施
- 18年9月 改修工事開始
- 19年7月 リニューアルオープン
- 23年4月 祝日開所開始

施 設（改修後）

- (1) 施設案内
 - 敷地面積 10,514㎡
 - 延床面積 3,731㎡
 - 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て
 - 建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員 180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員 20人

(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩30分
- または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩5分・・・乗車時間 約35分

(3) 近隣地図



利 用

- (1) 利用できる人
 - ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
 - ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H28. 4. 1 現在)
・ 宿泊使用料 (税込)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	540 円
市外の方	高校生以下	2,430 円
	大学生以上	3,240 円

- ・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税込)
1 人 194 円
- ・ 食事代 (税込)
朝食 550 円 昼食 550 円
夕食 550 円~790 円

《プラネタリウム公開》

◎ 投影開始時刻

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※ 投影時間は、約 1 時間

- ・ 入場料 (税込)

	個人	団体
市内の方	160 円	120 円
市外の方	320 円	250 円

◎ 休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

★ 利用状況 (平成 27 年度利用者)

開所日数 307 日 (単位: 団体、人)

区分		団体数	人数		
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	72	4,493	
		青少年団体	46	1,919	
		その他	16	409	
	市外	学校・青少年団体他	35	1,392	
	小計 A		169	8,213	
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	1	712
			市外	1	1,107
	団体	市内	4	169	
		市外	1	137	
	無料	小中高・特別支援学校他	0	0	
		その他 (減免団体)	14	1,220	
		宿泊団体 D	86	4,320	
小計 B		107	7,665		
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		79	3,496	
	プラネタリウム見学あり		21	1,186	
	小計		100	4,682	
合計 (A+B+C-D)		269	15,054		

平成 27 年 11 月末~平成 28 年 3 月末 改修工事により宿泊受入中止

★ 主催・共催事業 (平成 27 年度実績)

月	事業名
5	バラ祭り、チャレンジャースクール①
6	プラネタリウムコンサート①
7	ザ・チャレンジ自由研究
8	チャレンジャースクール②
9	親子お月見の会
10	親子宿泊体験
11	大町レクゾーンフェスティバル、チャレンジャースクール③
12	プラネタリウムコンサート②
1	チャレンジャースクール④、冬の天体観望会
2	健康吹き矢
3	竹細工工房、チャレンジャースクール⑤